



## ニカラグア共和国 (Republic of Nicaragua)



- 経済協力では橋梁整備への評価が高く、日本の橋梁協力を図柄とした記念切手も発行されている。
- 矢崎ニカラグアは自動車用ワイヤーハーネスを生産し、北米市場へ輸出。約1万5千人の雇用創出、職員への福利厚生などによりニカラグア政府から表彰されるなど高い評価。

### 国概要

#### (基礎データ)

- 面積: 130,000平方キロメートル  
(北海道と九州を合わせた広さ)
- 人口: 617万人(2015年, 国家統計院)
- 首都: マナグア(人口約148万人)
- 民族: 混血70%, 欧州系17%, アフリカ系9%, 先住民系4%
- 言語: スペイン語
- 宗教: カトリック
- 政体: 立憲共和制
- 議会: 一院制(92議席: 任期5年)
- GDP: 126.9億ドル(2015年, 中銀)
- 一人あたりGNI: 1,830ドル(2014年, 世銀)
- 経済成長率: 4.9%(2015年, 中銀)
- 失業率: 7.07%(2015年, 中銀)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

#### (略史)

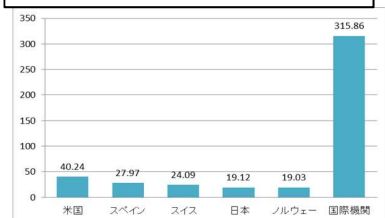
|       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 1502年 | コロンブス到達                          |
| 1524年 | グラナダ市及びレオン市創設                    |
| 1573年 | グアテマラ総督領に編入                      |
| 1821年 | スペインから独立                         |
| 1823年 | メキシコから分離, 中米諸州連合結成               |
| 1838年 | 中米諸州連合より分離独立                     |
| 1912年 | 米海兵隊侵攻                           |
| 1933年 | 米海兵隊撤退, 国家警備隊創設                  |
| 1936年 | ソモサ將軍(父)による独裁開始                  |
| 1979年 | サンディニスタ革命, 政府とコントラとの間で内戦(-1988年) |
| 1984年 | オルテガ大統領選出                        |
| 1986年 | イラン・コントラ事件                       |
| 1988年 | 政府とコントラが武装解除に合意                  |
| 1990年 | 国連監視の下で総選挙, チャモロ大統領選出            |
| 2007年 | オルテガ第二次政権発足                      |
| 2012年 | オルテガ第三次政権発足                      |

### 援助実績(E/Nベース)

| スキーム        | 額(累計)／人数(延べ)              |
|-------------|---------------------------|
| 円借款         | 225.75億円<br>(2014年度末時点)   |
| 無償資金協力      | 774.36億円<br>(2014年度末時点)   |
| 技術協力        | 230.09億円<br>(2014年度末時点)   |
| 青年海外協力隊     | 延べ566人<br>(2016年6月時点で30人) |
| シニア海外ボランティア | 延べ47人<br>(2016年6月末時点で8人)  |

出典: ODA国別データブック2015  
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)  
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

### ニカラグア共和国への主要ODA供与国 (2013年, 出典: OECD/DAC) (単位: 百万ドル, 支出総額ベース)



### 経済関係

| スキーム          | 金額／人数(直近年)                  |
|---------------|-----------------------------|
| 日本からニカラグアへの輸出 | 11521億円<br>(2015年, 財務省貿易統計) |
| ニカラグアから日本への輸出 | 2801億円<br>(2015年, 財務省貿易統計)  |
| 在ニカラグア日系企業数   | 4社<br>(2015年10月, 外務省統計)     |

### 人的つながり

| 項目              | 人数(直近年)                       |
|-----------------|-------------------------------|
| ニカラグアにおける在留邦人数  | 151人<br>(2015年10月, 外務省統計)     |
| 在日ニカラグア人数       | 104人<br>(2015年末, 法務省統計)       |
| 日本からニカラグアへの渡航者数 | 1,934名<br>(2013年, ニカラグア入国管理局) |
| ニカラグアから日本への留学生数 | 6名<br>(2015年5月時点(独)JASSO調査)   |

## 日本とニカラグア共和国との協力年表

| 年代       | 案件                                   |
|----------|--------------------------------------|
| 1935年2月  | 外交関係樹立                               |
| 1964年    | 研修員受け入れ開始                            |
| 1987年    | 倉成外相の中南米訪問(「暁支援」スピーチ)                |
| 1990年    | 総選挙実施<br>国連ニカラグア選挙監視団(ONUVEN)に参加     |
| 1991年    | 青年海外協力隊(JOCV)派遣取極締結                  |
| 1992年    | ニカラグア沖地震による津波被害に対して国際緊急援助隊派遣         |
| 1995年    | 第1回目・中米「対話と協力」フォーラムを開催(於:エルサルバドル)    |
| 1996年    | 日・中米首脳会合(於:コスタリカ)<br>橋本総理が出席         |
| 1998年    | JICAニカラグア事務所設立                       |
| 1998年    | ハリケーン「ミッチ」被害に対して国際緊急援助隊を派遣           |
| 2001年    | 技術協力協定締結                             |
| 2001年    | ARNECOM ニカラグア(矢崎総業グループ)設立            |
| 2004年    | 公的債務免除(約130億円)                       |
| 2004年6月  | ボラーニョス大統領訪日                          |
| 2005年8月  | 日・中米首脳会合(於:東京)<br>東京宣言・行動計画を採択       |
| 2005年10月 | 外交関係樹立70周年                           |
| 2013年6月  | 円借款「持続可能な電化及び再生可能エネルギー促進計画」(14.96億円) |
| 2015年3月  | ニカラグア日本ビジネスフォーラム創設                   |
| 2015年7月  | 宇都外務大臣政務官訪問(外交関係樹立80周年)              |
| 2015年8月  | 地上波デジタルテレビ日伯方式採用に伴う協力合意文書に署名         |

グアテマラを訪問した倉成外務大臣が、内戦が終結した暁には日本は中米の復興に向けて支援を行うとの、いわゆる「暁支援」を表明。

内戦終結に伴う総選挙が実施され、国際的に大きな注目を集める。日本からも6人が国連ニカラグア選挙監視団(ONUVEN)に参加。



ニカラグアで発行された記念切手

内戦終結後、復興に向け本格的な協力を開始。特に橋梁整備については無償資金協力を活用して20件以上実施。ニカラグアにおける評価が高く、記念切手にもなっている。

ニカラグア沖地震による津波被害に対して緊急医療チームを派遣。



ハリケーン「ミッチ」で被害を受けたニカラグアに対して緊急医療チームを派遣。緊急災害無償50万ドル及び緊急援助物資供与1,989万円も実施。被災民救済の一環でWFP(世界食料計画)を通じて食料援助を実施。

矢崎総業がメキシコとの合弁会社として設立。主に北米向けワイヤーハーネスを生産。2002年にレオン市に生産工場(従業員400人)を立ち上げ操業を開始。その後着実にニカラグアにおける事業を拡大。2012年に合弁を解消し、社名を矢崎ニカラグアに変更。現在、ニカラグア国内で5カ所の工場が稼働しており、約1万5千人を雇用している。雇用創出、職員への福利厚生などによりニカラグア政府から表彰されるなど高い評価を得ている。

「愛・地球博」における「中米の日」に合わせて開催。リソ副大統領が出席。

「経済活性化に向けた基盤づくり」、「貧困層・地域における社会開発」及び「環境保全と防災」を重点分野として支援。

## 外交関係樹立80周年、日・中米交流年



宇都外務大臣政務官による  
オルテガ大統領表敬  
(2015年7月)



ニカラグア日本ビジネスフォーラム創設  
(2015年3月)



今井駐ニカラグア大使による  
空手の演武  
(2015年7月)